



北の読書環境シンポジウム

～北海道の読書環境の現状報告～

公共図書館の現状報告

いま、まちの図書館は

平成30年6月24日

札幌エルプラザ4階

市立小樽図書館長 鈴木浩一

プロローグ 最近の図書館の話題から

鎌倉市図書館

2015年8月26日



もうすぐ二学期。

学校が始まるのが死ぬほどつらい子は、
学校を休んで図書館へいらっしゃい。

マンガもライトノベルもあるよ。
一日いても誰も何も言わないよ。

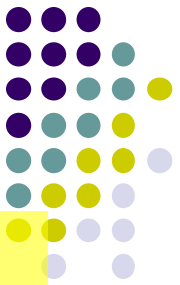
9月から学校へ行くくらいなら死んじゃおうと思ったら、
逃げ場所に図書館も思い出してね。

物凄い優しい
言葉。昔の私
にも言って貰
いたかつ…

いいなあ。すごくいい。うち
の妻も子どもの頃は友達がいな
くて、休み時間はずっと図書室
にいたと言ってたな。

私も女子特有のややこしい情況にさら
された時、卑怯な男子がのさばる時、学
校図書室が唯一息をつけるところだった
な…保健室は「仮病の人は出てけ」状態
だったけど、図書室の司書さんは不干涉
だったので。

1 2分で分かる公立図書館史 社会の変化とともに

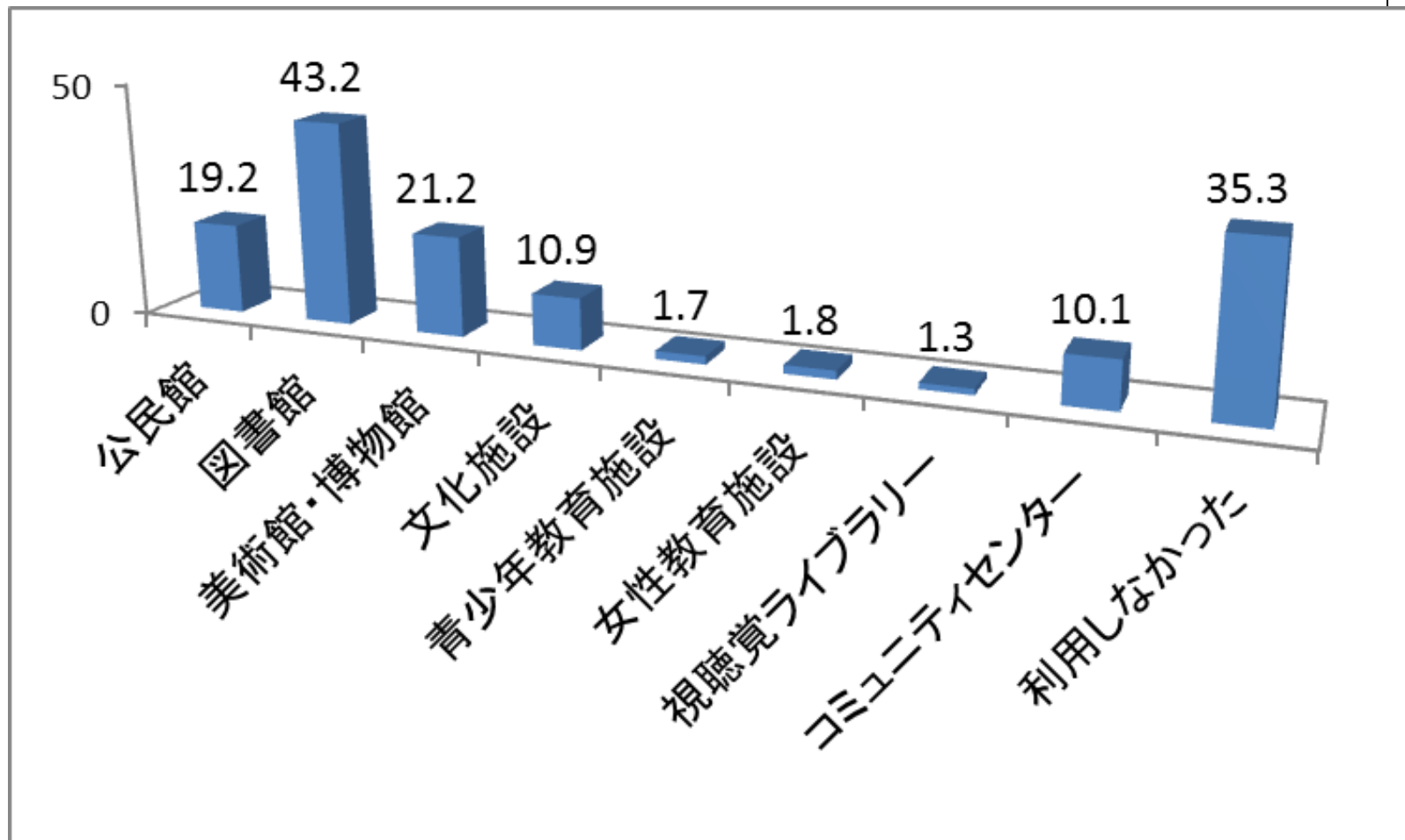
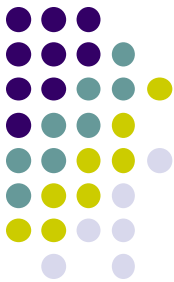


- (1) 閲覧の時代 図書館で読む 読書家・学生（席貸し）
- (2) 貸出しの時代 自宅で読む 様々な読書（主婦・子ども等）
昭和30～40年代 東京日野市 ひまわり号
北海道置戸町 やまびこ号
市民の図書館・中小都市における公共図書館の運営
しかし？
- (3) そして、いまは 暮らしに役立つ図書館
いつでも・どこでも・すべての人に（仕事・暮らし・学校）

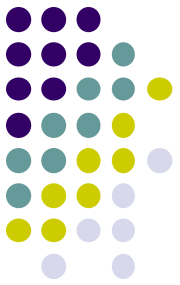
いざわいを創出する

網走市の市民向けの施設で一番利用しやすい場所それは「図書館」
じゃないですか？ そんな図書館を僕の楽しみ方をご紹介しますよ～
あばぶろ網走商工会議所青年部

文部科学省委託「学習活動やスポーツ、文化活動等に係るニーズと社会教育施設等に関する調査」（平成18年）



平成17年2月～7月の6か月間の利用状況



図書館の役割

自己判断自己責任型社会

○情報化社会を国語辞典で調べると

「情報内容を的確にとらえ利用するものが社会的に優位を占め、
そうでないものが他におくれをとるしくみの社会」

（三省堂新明解国語辞典第二版）

○そのための情報を提供する。無料の原則

暮らし・健康・教育・仕事・福祉～情報はあらゆるところにある。

市役所・企業・商店・学校図書・雑誌・パンフレット・web

○片山善博氏（慶應大学教授）

図書館の使命は、市民の自立を支援する知的拠点である。

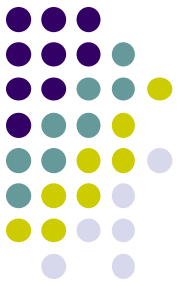
○伊万里市立図書館

すべての人の成長（自立・自律）と成熟、自己実現を支える教育施設

悩んだ時、困った時にも図書館があなたのお役に立ちます
展示「雇用・住居・生活支援特集」を開催しています
静岡市立図書館 HPから



瀬戸内市民図書館（岡山県） 持ち寄り・見つけ・分かち合う場



もみわ広場

持ち寄り

「こんなことが知りたい」「こういうことで困っている」
市民の情報ニーズを持ち寄ってほしい。

見つけ

図書館の資料により、答えやヒントを見つけたり、さらに、新たな世界
を見つけてほしい。

分け合う

見つけたことや、学んだことなどを発信・分け合ってほしい。

図書館友の会「もみわフレンズ」が新聞でビブリオバトル？

図書館のめざすもの「図書館未来ミーティング」

市が基本構想を作成し、ワークショップを12回開催し、市民の意見を反映。

ボランティアがステッカーを作って販売、建設支援。

紫波町図書館オガール（岩手県）



コンセプト

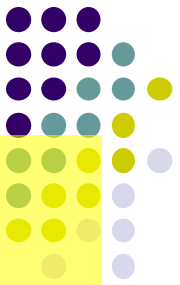
「知りたい」「学びたい」「遊びたい」を支援する図書館

- あらゆる「知りたい」に応え、潜在的、将来的な利用を見据えた情報を提供します。
- 「学びたい」に応え、活力あるまちづくりに役立つ情報や、町民が自力で課題解決するための情報を提供します。
また、まちの歴史・風土・文化に出会い、発信する場を提供します。
- 「遊びたい」に応え、知的好奇心を満たし、文化的、娯楽的活動などによる新しい創造と交流が生まれるための情報を提供します。

運営の3本柱

1. 子どもたち（0歳から高校生まで）と、本をつなぐ。
2. 紫波町に関する地域資料を、収集・保存する。
3. 紫波町の産業支援をする

オガールプロジェクト 紫波町が運営する情報交流館（図書館・地域交流センター）と民間テナント（飲食・物販・医療・教育系）で構成される。



3つのつながる

1 市民の役に立つための「つながる」

地元の住民にとって何が役につながるのか、連携による事業を展開。

- 町内の職人（箆笥職人・杜氏等）14名の方におすすめの1冊を、作品とともに紹介する
「わたしの1冊」

2 町の課題解決のための「つながる」

産業支援（農業支援）

図書館資料による農業支援は難しく、技術的情報は専門機関につなぎ、生産者や農業についての発信する場をめざす。

- 農業支援計画を企画 町内の産直・JAいわて中央へ出荷している生産者のメッセージと写真の紹介など展示。「しわの農を知る」

3 サービス向上のための人が「つながる」

役場、機関、団体、ボランティア等、積極的にコミュニケーションを図ることにより、新たな企画、よりよいサービスのきっかけになる。

飛騨市図書館（岐阜県） 「おとなの時間」「子どもの時間」



おとなの時間 官能小説朗読ライブ
ジャズライブ
魔女の集い



子どもの
暗
ぐ
ウ

図書の貸出のみならず、市民が求める各種情報の提供を行うことで、人が集まり、一人ひとりの市民が生きがいを見いだし、元気に生きるための情報発信と生涯学習の拠点となる図書館をめざします。

図書館スタッフは、コンシェルジュ（図書館の総合案内人）として、利用者が図書館を活動の場として情報の発信や交流を行うことができるよう支援し、また幅広い分野の講座を開催することで学習の場を提供します。（飛騨市教育振興基本計画）

武雄市立図書館 来館者が3倍増

2012 旧図書館を改築 指定管理者制度導入
年中無休 書店・カフェの併設による運営

2013 入館者数 923,035人
貸出冊数 545,324冊

2015 選書 開館時、古本を大量(1万冊)購入
郷土資料・視聴覚資料の廃棄

市外の利用が50%超えている。市民の利用 来館29%増、貸出は9%減少



武雄市まで図書館を見に行くのであれば、伊万里も見てきた方が良い

伊万里市民図書館 伊万里をつくり市民とともに育つ

1995 市民との学習・提案・情報提供・協力を得てオープン
移動図書館車保育所・幼稚園・小学校を巡回

2015 貸出冊数468,297冊

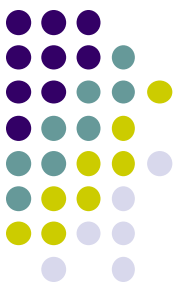
「図書館づくりをすすめる会」から「図書館フレンズいまり」へ

その他12団体

2016 「日本一のうちと

「伊万里市は、すべての市民の知的自由を確保し、文化的かつ民主的な地方自治の発展を促すため、自由で公平な資料と情報を提供する生涯学習の拠点として、伊万里市民図書館を設置する。」

2 図書館の基本



(1) 図書館法 1950年制定

第2条（定義）

この法律において「図書館」とは、**図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設**

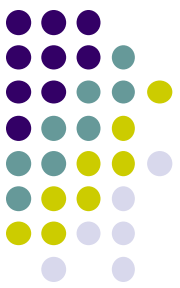
第3条（図書館奉仕） 図書館は、図書館奉仕のため、**土地の事情及び一般公衆の希望に沿い、更に学校教育を援助し、及び家庭教育の向上に資すること**となるように留意し、おおむね次に掲げる事項の実施に努めなければならない。

第7条の3（運営の状況に関する評価等）

図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

第7条の4（運営の状況に関する情報の提供）

図書館は、当該図書館の図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。



第4条（司書及び司書補）

図書館に置かれる専門的職員を司書及び司書補と称する。

第7条の2（設置及び運営上望ましい基準）

文部科学大臣は、図書館の健全な発達を図るために、図書館の設置及び運営上望ましい基準を定め、これを公表するものとする。

* 2001年 公立図書館の設置及び運営の望ましい基準定められる。

2012年 図書館法の改正に基づき、改正。

第7条の3（運営の状況に関する評価等）

図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

第7条の4（運営の状況に関する情報の提供）

図書館は、当該図書館の図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

(2) これからの図書館像 ―地域を支える情報拠点を目指して― 平成18年3月 これからの図書館の在り方検討協力者会議

はじめに 図書館では、今、**改革**が始まっています。

○改革を始めた図書館 司書が様々なデータベースを検索、様々なメディアの情報を利用者に提供、仕事や生活上の課題を解決するために利用できるようになってきている。→ **「地域や住民に役立つ図書館」**

第1章 よびかけ

1 地方公共団体のすべての機関の方々へ

住民が必要な情報を収集し、意思決定するために
地域の文化や経済社会の発展のために

2 図書館で働くの方々へ

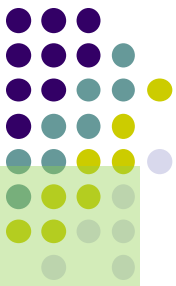
図書館→本を借りるところ 司書→本の貸出手続きをする人
図書館に対する地域の住民や行政関係者の評価や認知度は？
様々な機関と連携・協力・住民の参加の場

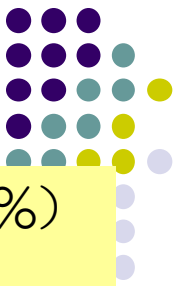
3 地域住民の方々へ

図書館は文学書など本を借りるだけでなく、情報を提供するための様々な活動を展開する施設 ボランティア活動による社会参加

4 各種団体や機関の方々へ

学校 読書や学習活動での連携
商工団体・医療・福祉団体等の公的団体・講座や相談会の共催





3 北海道の公立図書館

図書館設置市町村 179市町村 100市町村 (設置率54.7%)
平成29年度 図書館と公民館図書室等の比較(町村)

	町村数	専任職員有	うち司書	専任職員無	うち司書	司書がない	貸出冊数
図書館	66	53	53	13	10	4	57,828
公民館図書室等	78	11	9	67	7	61	13,616

○運営の効率化

直営から民間委託へ

指定管理者制度 道内14市町村

業務委託(カウンター委託等)

人員の削減(正職員から非常勤職員へ)

図書館の非正規職員 約60%(全国2010現在)

○図書館の役割が多様化 まちの図書館へ

全域サービス・学校支援

コミュニティ(居場所)

図書館 紹介

図書館は本のあるみんなの広場 置戸町立図書館



- 1 本と出会う喜びや楽しみを実感できる図書館をめざします
- 2 日々の暮らしに役立つ図書館をめざします
- 3 だれもが気軽に訪れることのできる「本のあるひろば」としての図書館をめざします。
- 4 住民と共に成長する図書館をめざします。



図書館
紹介

滝川市立図書館 2011年11月移転オープン



滝川市立図書館の基本コンセプト

出会いといのちの森・図書館～子どもから大人まで幅広いいのちの大切さを発信する

- 子ども図書館 ～子どもと本との出会いの場をつくる～
- 情報図書館 ～自己判断・自己責任の時代に対応する～
- 市民協働 ～市民の参画による読書コミュニティの形成と魅力ある図書館づくり～

キーワード
は「連携」

図書館（H28年2月末現在）

面積 延床面積 1,473㎡（旧館 1,192㎡）
地下書庫 30㎡
蔵書冊数 157,702冊 ※雑誌含まない
うち開架図書 93,933冊 ※貸出中含む
うち新町書庫 52,203冊 ※雑誌含まない
貸出冊数 10冊以内
開館時間 9:30～19:00（月～金曜日：木曜日を除く）
9:30～17:00（土・日曜日）
休館日 毎週木曜日・土日以外の祝日・年末年始
特別整理期間～開館日数：292日
閲覧席 140席 学習室 18席
館内検索端末 3台 + Web検索 ネット閲覧端末 3台
駐車場 市役所：110台 市立病院：190台
職員 正規職員4名（司書2名）、嘱託職員5名（司書5名）、臨時職員4名（司書1名）

江部乙図書コーナー

本館のサテライト
蔵書数 7,858冊
図書検索端末 1台

Webサービス

- ・館独自Webサイト（PC+モバイル）

報道機関との連携

- ・コミュニティFMへの出演
- ・地元紙へのおすすめ本の紹介、展示
- ・地域情報サイトでの記念日の本の紹介掲載
- ・新聞店発行図書館情報の情報提供、協働イベント

学校連携

- ・図書館学級文庫～クラス毎に貸出
- ・学校図書館運営支援～環境改善・コーナーづくり支援
- ・調べ学習支援～テーマに合わせた本の貸出や図書館訪問受入
- ・読書支援～読み聞かせ・ブックトーク等の実施
- ・読書アルバム
- ・おすすめ本のチラシ配布～対象別テーマ別チラシ配布
- ・連絡会議（市内全小中学校図書担当教諭）
- ・國學院大學北海道短期大学部連携資料の相互利用・協働企画～相互協定締結

行政連携～行政と市民をつなぐツール

- ・市役所各課、機関等との連携展示、行事
- ・行政情報コーナー設置
- ・市勢資料の収集強化
- ・市職員の調査・相談支援
- ・乳児健診・マタニティ講座での本の紹介

地域連携

- ・まごころ本箱「はこぶつく」～施設・団体を対象の貸出、民間病院・学童クラブ等での利用
- ・地域文庫～地域住民が支える地域の本棚
- ・病院・老人福祉施設・公民館等設置
- ・雑誌ささえ隊～企業・団体・個人からの雑誌スポンサー制度、ささえ隊PR展示も実施
- ・連携展示～企業・団体等との連携展示

ソフト事業

- ・ブックスタート～4.5カ月、1歳6カ月の健診時
- ・展示～毎月8～10種類
- ・絵本のおはなし会 たまてばこ
- ・あかちゃんといっしょ
- ・朗読会～年4回
- ・絵本作家WS、講演会
- ・図書館を使った調べる学習地域コンクール
- ・ボランティア活動
- ・出張おはなし会～学童、高齢者施設等
- ・きもだめし&怪談
- ・大人向けワークショップほか

まちなか連携

- ・まちなか情報の収集と発信
- ・商店街等との連携企画事業
- ・ビジネス支援

市立病院連携

- ・地域文庫
- ・健康情報の収集と配置

そらぶちキッズキャンプ連携

- ・難病の子どもたちのための医療完備の常設キャンプ
- ・常設展示で情報提供

幼稚園・保育所連携

- ・読み聞かせ用図書、機材貸出
- ・まごころ本箱の活用（全保育所）
- ・出張おはなし会

図書館に求められる機能は常に
変化している！

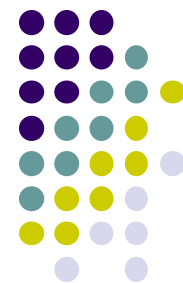
行政連携その1

行政情報コーナー
庁内各課の配布用
パンフレットを
用途別に配置
(持ち帰り可) 通年



庁舎内の図書館の特性を生かし、
行政のほか、滝川消費者センター
などの情報も提供

行政連携その2 市役所以外の行政機関・団体との連携



税を考える週間
(北海道税理士会滝川支部・税務課)



ロビーで税理士会「税の無料相談」

まちなか連携その1

まちなか連携企画「うちのキャンバン！」

(滝川市商店街興組合連合会)

時節にあわせたまちなかのお店を、スタッフのコメントと写真、関連図書で毎月紹介
対象となるお店を図書館でセレクトして、取材を行い表示を作成、スタッフの顔写真・コメント・マップ
は必ず掲載



春の装い編 オリジナルハンドメイドレ
ザーショップとセレクトファッション&
アクセサリーショップの2店を紹介

クリスマスディナー編 女性に
人気のイタリアンレストラン2店
を紹介



まちなか連携その2

(滝川市商店街興組合連合会・商業観光課)

物づくり物がたり～うちのカンバン！ Vol.5・特別編～



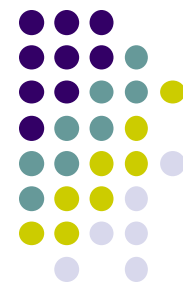
靴・白磁器・銀小物・大人のドールハウス・革小物・墨絵・石仏など職人の作品の現物を展示

たきかわ職人支援研究会発行の小冊子「物づくり物がたり」に掲載されたお店を中心に、職人とモノについてのエピソード、作品の現物、お店の情報を展示



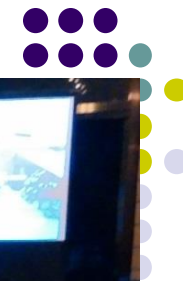
読書普及行事

夏の『こわ〜い』おはなし会 & きもだめし



市内の寺院本堂で、住職や
読み聞かせボランティアによる怪談絵本の
読み聞かせと、納骨堂を巡るきもだめし

竹鶴政孝と北海道 講演会



地元のFM放送局・バーテンダーの方も参加・試飲とマッサンで大好評



「世界の国からこんにちは!!」

国際交流員が、母国の絵本の読み聞かせや母国語のあいさつ・文化についてお話しします。また、4カ国語で「おおきなかぶ」を演じました。

市役所で夜の映画会

映画の展示「舞台は北海道」に併せて上映会を開催。18時からコーヒーとパンが付きました。





夏だ!祭りだ! たまてばこ
市役所ロビーに200名を超える親子が大集合
短大生やボランティアも参加



学校連携



図書館学級文庫



全小中学校10校
へ年4回(計40回)
図書館が出向いて
、本を運搬、子ども
たち自らが本を選
び、クラスに配置
年間21,000冊以
上を貸出し



読書支援



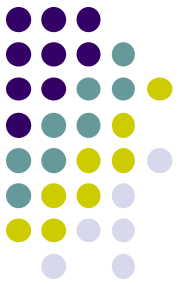
学校の要望に応
じ、読み聞かせ
やブックトークな
どを実施



連携と情報発信で来館者増加

地域の情報拠点として、子どもから高齢者までが集える場として、
笑顔でお帰りいただき、「また、来たい」と思ってもらえることを
念頭に、

待つ図書館から『行動する図書館』へ



年度	来館者数	22年度 対比	個人貸出 冊数	団体貸出 冊数	貸出冊数 合計	22年度 対比	備考
22年度	36,864		91,712	17,519	109,231		移転前
25年度	171,916	466%	218,520	23,442	241,962	222%	
26年度	163,409	443%	208,848	31,074	239,922	220%	
27年度	157,663	428%	205,714	32,438	238,152	218%	

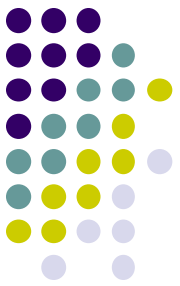
3年半で
入館者50万人達成
平成27年5月20日

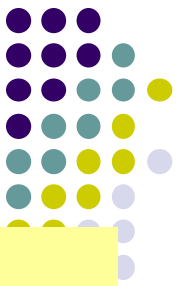


図書館 紹介

根室市立図書館 生き抜くために必要な防災の知識







まちのめざすもの/図書館のめざすもの

「子供が健やかに育つ地域社会を作り上げることこそ次期総合計画の最大のテーマであるべき」

「読書コミュニティ、小学生が生徒1人当たり学校図書館からの年間貸出冊数100冊を目指す。」

ブックスタートから学校支援へ

全国でもいち早くブックスタートを導入

小中学校へ司書を配置/小学校の予算増

→ H24.4 恵庭市人とまちを育む読書条例

★学校図書館配本システム

学校図書館システムで図書を予約

火～金曜日の毎日 配本車が巡回

14：00図書館発→小学校8校中学校5校（玄関受渡し）→16：00図書館

図書館から学校・学校同士の図書の貸し借りが実現

多人数での調べ学習も対応可となる

図書館 紹介

まち・人・図書館

北広島市図書館



まちがあって、人があるこそ図書館。
北広島市図書館の基本は、まちづくり
人づくり 図書館づくり

ボランティア

フィールドネットワーク

修理製本・読み聞かせ・フロアーワーク
等多数の市民が参加

学校支援

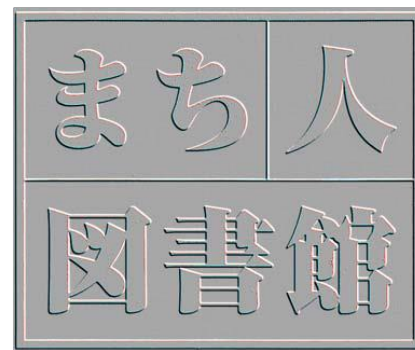
豆次郎・豆太郎・学校図書センター

情報発信

SDIサービス

北広島資料充実プラン

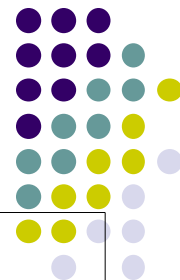
図書館のめざす計画をつくる



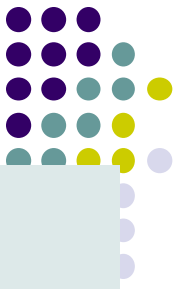
図書館 紹介

長沼町図書館

地域資料を集める



市立小樽図書館の概要と課題



施設 延床面積 2489m²

移動図書館車わくわくブック号 38ステーション巡回

蔵書 307,511万冊 雑誌 購入97タイトル

年間資料費1,000万円 スクールライブラリー便100万円

入館者数 192,844人 1日約650人

貸出冊数 389,613冊 小樽市民一人年間3.19冊

職員数 正職員5名・嘱託13名

課題 利用者の減（来館サービスが中心）

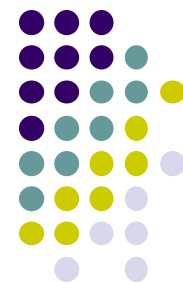
貸出中心の運営 PRの不足

目標（運営方針）がない

事業が少ない。新しい取組みがない。

地域資料の収集活用が取組みが低い

学校図書館支援は、貸出しが中心



平成30年度市立小樽図書館 運営の方針

みんなが集い、みんなで創る小樽図書館を目指して

1 子どもと本の出会いをつくります。

赤ちゃんから高校生まで、成長段階に合わせて読書活動を支援します
学校図書館への連携・支援を図ります。

小樽市子どもの読書活動推進計画の策定

2 暮らしや地域の課題解決に役立つ情報拠点を目指します。

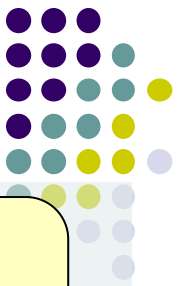
小樽に関する郷土資料や地域資料の収集・整理・発信します。

暮らしや仕事に役立つレファレンスの取組みと情報発信します。

3 市民との協働や様々な連携を図ります。

博物館等の社会教育施設及び小樽商科大学や水族館等様々な機関・団体
・ボランティア等の連携協力を進めます。

改善の第1歩 まず取り組んだこと



○事務分掌の見直し

業務主体の分掌から、目的主体の分掌へ。

子ども読書・地域課題解決・連携のチームを立ち

市立小樽図書館
入館者・貸出冊数から
利用者・利用冊数へ

○子ども読書活動

児童室の改善 展示コーナーの拡充（1→5）

図書館に子ども読書担当司書を1名配置（企画書を作成し要望）

学校図書館への様々な支援（運営相談・学校図書館クリニック・SL便）

保育所・幼稚園への支援（子ども読書だよりの発刊等）

○小樽情報コーナーの設置 観光パンフレットほかイベント情報、団体情報等

○健康情報コーナーの設置 保健所と連携、パンフレット・図書をコーナーに配架

○PRの強化 フェイスブックのスタート

○様々な連携をしています →水族館との連携・小樽商科大学との連携・・

海上保安庁・パン屋

○展示コーナーの充実 コーナーの増、事業に併せた展示

夏休み自由研究応援企画 調べ学習応援タイム



えほん「どこいくの?」図書館で完成披露会



連携 すいぞくかんがやってくる

おたる水族館：小樽
商科大学との連携



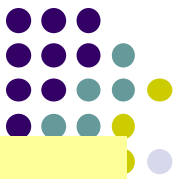
1月には、自然の村・
商科大学連携「ぐりとぐ
らのカステラをつくろう」を開催



資料展示「聖樹のパン」と小樽のパン屋さん



小樽出身の漫画家山花典之氏の原画を紹介、パンをキーワードに図書館資料の紹介、さらに、小樽を舞台した漫画「聖樹のパン」を中心に、小樽市内のパン屋を取材展示し、地元の商店を紹介。



4 これからの図書館 いま求められているもの

○まちに、人に、暮らしに役に立つ図書館を
○子どもたちに本の楽しさを
○みんなが集う、そしてみんなで創る図書館を
○どこにいても利用できる
○様々な情報が集まるまちの情報センター
眠っている情報に注目し、図書館で発信

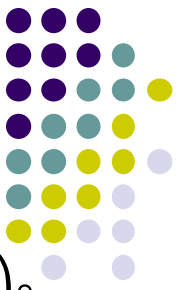
役に立つ図書館
子どもの読書活動推進
コミュニティ
全域サービス
連携

図書館の持つ力とは？

- ・ 様々な資料を収集・整理し、どのような分野の人々にも役立つ情報が入手できる。

図書館は、まちとまちの人たちのための機関→情報の連携（共有）

生涯学習の理念と施策の方向 東京学芸大学 山口源治郎教授
図書館は人間の生存基盤の回復に役立つか
命をつなぎ止める・地域の中の居場所・人と人をつなぐ



蘭越に図書館があることは

花一会の新たなスタート 図書館をはじめる

図書館は本のある建物ではない。条例があるから図書館ではない。

図書館サービスをするから図書館

「図書館は成長する有機体である」 ランガナタン
図書館の3要素 人7 資料2 施設1



photo.jp - 35901474

図書館ができないのは、ひとがない・お金がない・プランがない

職員
館長の必要

予算は活動の
なかで検討

プランは創る
町・町民・図書館

まちの図書館サービスの在り方を考える（ミッション）

ひと～職員 ボランティア 町民（利用者）

すべての町民が
何かあったら図書館へ・図書館に行くと何かが
集う場所として・ともに創る図書館として
待つ図書館から発信する図書館へ